

ぶどう「シャインマスカット」の収穫適期の判定に、 ぶどう欧州系黄色品種用カラーチャートが有効である

果樹試験場

1 技術の要約

ぶどう「シャインマスカット」は、満開後 90 日以降に、ぶどう欧州系黄色品種用カラーチャートを用い、果皮色を比色し、カラーチャート指数「3以上」の果房を収穫することで、目標果汁糖度 19Brix%以上の果房が収穫できます。

2 技術の内容

ぶどう「シャインマスカット」は、成熟に伴い、果皮色は黄緑色となります。緑色が強く、成熟していない果房では食味が劣るため、高品質な果実を生産するためには、適期収穫の遵守が重要です。「シャインマスカット」の生産目標は、果汁糖度が 19Brix%以上（成熟が遅い果粒でも糖度 18Brix%以上）となった頃です。

そこで、適期収穫の判定基準の 1 つとして、果皮色カラーチャートを作成しました。

利用方法は、満開 90 日後以降に、ぶどう欧州系黄色品種用カラーチャート（図 1）を用いて、果房の中で比較的緑色が残る果粒を比色します。比色は、明るい日陰で行い、全果粒が 3 以上に達していることを確認します。直射日光や蛍光灯の下では色調が異なるので行わないようにします。

収穫は、カラーチャートの色のみで判断せず、収穫後日数・糖度・食味など総合的に判断することが重要です。



図1 ぶどう欧州系黄色品種用カラーチャート

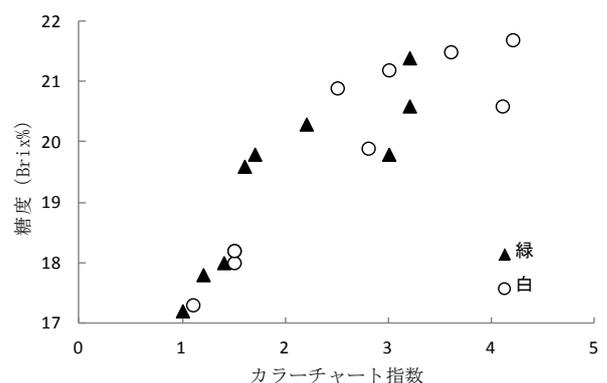


図2 ぶどう欧州系黄色品種用カラーチャート指数と糖度の関係

供試樹：露地栽培、6本主枝短梢せん定樹1樹、「シャインマスカット」(5BB 台木 12 年生、満開日 6/11)
果実袋：(白) N グレーブ DT20、(緑) グレーブカラー(緑)
調査方法：1 樹 5 果房採取し、果粒ごとにぶどう欧州系黄色品種用カラーチャート指数、糖度を測定した。